貸 借 対 照 表

(2021年12月31日現在)

(単位:百万円)

次本。如		左 / 生 の 並	,
資産の部		負債の部	
流動資産	26,100	流動負債	5,316
現金及び預金	124	買掛金	3,186
受取手形	1,220	前 受 金	8
電子記録債権	2,084	リース債務	48
売 掛 金	5,049	未払金	1,339
商品及び製品	2,460	未払法人税等	390
十	415	未 払 消 費 税	94
原材料及び貯蔵品	757	未 払 費 用	173
関係会社預け金	13,529	預り 金	74
未 収 入 金	117		
関係会社短期貸付金	760	固定負債	1,791
1年內関係会社長期貸付金	49	リース債務	70
その他	131	繰延税金負債	557
貸 倒 引 当 金	△599	預 り 保 証 金	1,163
固定資産	18,422		
有形固定資産	15,812		
建物	3,880		
構築物	257	負 債 合 計	7,107
機 械 及 び 装 置	4,067		部
車両運搬具	4		
工具、器具及び備品	407		37,234
土地	6,884	資 本 金	4,220
リース資産	108		4,242
建設仮勘定	202	資本準備金	3,542
無形固定資産	155	その他資本剰余金	699
ソフトウェア	145	利益剰余金	28,772
その他	9	利益準備金	397
投資その他の資産	2,454	その他利益剰余金	28,374
投資有価証券	543	圧縮記帳積立金	1,254
関係会社株式	517	別途積立金	16,400
関係会社長期貸付金	912	繰越利益剰余金 繰越利益剰余金	10,720
長期前払費用	56	評価・換算差額等	180
差入保証金	132	その他有価証券評価差額金	180
前 払 年 金 費 用	289		
その他	8		
貸倒引当金	△5	純 資 産 合 計	37,414
資 産 合 計	44,522	負債・純資産合計	44,522

損 益 計 算 書2021年1月1日から2021年12月31日まで

(単位:百万円)

科目	金	金額			
売上高		26,363			
売上原価		18,573			
売上総利益		7,790			
販売費及び一般管理費		6,097			
営業利益		1,692			
営業外収益					
受取利息及び配当金	82				
受取手数料	19				
雑収入	23	126			
営業外費用					
支払利息	15				
為替差損	37				
貸倒引当金繰入額	234				
雑損失	15	303			
経常利益		1,515			
特別利益					
補助金収入	10	10			
特別損失					
固定資産除売却損	8				
投資有価証券評価損	3	12			
税引前当期純利益		1,514			
法人税、住民税及び事業税	552				
法人税等調整額	Δ0	551			
当期純利益		962			

個別注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準および評価方法

子会社株式および関係会社株式

移動平均法による原価法

その他有価証券

時価のあるもの

決算期末日前1ヶ月の市場価格等の平均に基づく時価法(評価差額は、全部純資産 直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)

時価のないもの

移動平均法による原価法

2. たな卸資産の評価基準および評価方法

商品・製品・原材料・仕掛品・貯蔵品

主として移動平均法による原価法

(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法により算定)

3. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産(リース資産を除く)

定額法

なお、主な耐用年数は以下の通りであります。

建物3~50 年機械及び装置2~17 年

工具、器具及び備品 2~20年

無形固定資産(リース資産を除く)

定額法

なお、ソフトウエア(自社利用分)については、社内における利用可能期間(5年)に 基づく定額法

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法

4. 引当金の計上方法

貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸 念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上してお ります。

退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末において発生していると認められる退職 給付債務および年金資産の見込額に基づき計上しております。

年金資産見込額が退職給付債務見込額に未認識数理計算上の差異を加減した額を下回る場合には、当該差異を退職給付引当金として計上し、上回る場合には当該超過額を前払年金費用として計上しております。

数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(10年)による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌事業年度から費用処理しております。

過去勤務債務は、発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(15 年)による定額法により費用処理しております。

5. 消費税等の処理方法

消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

(貸借対照表に関する注記)

1. 有形固定資産の減価償却累計額

33.293 百万円

2. 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務

短期金銭債権 95 百万円 短期金銭債務 242 百万円

(損益計算書に関する注記)

1. 関係会社との取引高

営業取引

売上高278 百万円仕入高1,283 百万円営業取引以外の取引高87 百万円

(税効果会計に関する注記)

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

繰延税金資産

未払法人事業税	28 百万円
棚卸資産評価減	39 百万円
関係会社株式評価損	61 百万円
貸倒引当金	184 百万円
投資有価証券評価損	69 百万円
その他	63 百万円
繰延税金資産小計	447 百万円
評価性引当額	△316 百万円
繰延税金資産合計	130 百万円
繰延税金負債	
前払年金費用	△88 百万円
固定資産圧縮積立金	△550 百万円
その他有価証券評価差額金	△49 百万円
繰延税金負債合計	△688 百万円
繰延税金資産の純額	△557 百万円

(金融商品に関する注記)

- 1. 金融商品の状況に関する事項
 - (1)金融商品に対する取組方針

当社の資金運用は、親会社のキャッシュ・マネジメントサービスにて実施しております。設備 投資等の資金は自己資金にて対応しております。尚、デリバティブ取引は行っておりません。

(2)金融商品の内容及びリスク並びにリスク管理体制

営業債権である受取手形及び売掛金は、顧客の信用リスクに晒されております。当該リスクに関しては、当社の与信管理規程に則り、取引先ごとの期日管理及び残高管理を行うと共に、信用 状況を定期的に把握する体制としています。

投資有価証券である株式は、市場価格の変動リスクに晒されていますが、それらは業務上の関係を有する企業の株式がほとんどであり、四半期ごとに時価の把握を行っております。

営業債務である買掛金及び未払金は、1年以内の支払期日です。これらは、流動性リスクに晒されておりますが、月次に資金計画を作成するなどの方法により管理しております。

(3)金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格が無い場合には合理的に算出された価額が含まれております。

2. 金融商品の時価等に関する事項

2021年12月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりです。なお、投資有価証券で時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含まれていません。((注2)参照)

	貸借対照表計上額	時価	差額
	(百万円)	(百万円)	(百万円)
(1)現金及び預金	124	124	1
(2)受取手形	1,220	1,220	_
(3)電子記録債権	2,084	2,084	_
(4)売掛金	5,049	5,049	_
(5)関係会社預け金	13,529	13,529	_
(6)関係会社短期貸付金	760	760	_
貸倒引当金	△598 161	∆598 161	_
(7)投資有価証券			
その他有価証券	472	472	_
(8)関係会社長期貸付金(※1)	962	957	∆4
資産計	23,604	23,599	∆4
(1) 買掛金	3,186	3,186	_
(2) 未払金	1,339	1,339	_
負債計	4,525	4,525	_

^(※1) 関係会社長期貸付金には、1年内の返済予定分を含んでおります。

(注1)金融商品の時価の算定方法並びに有価証券に関する事項

資産

- (1)現金及び預金、(2)受取手形、(3)電子記録債権、(4) 売掛金、(5)関係会社預け金、
- (6)関係会社短期貸付金

これらの時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(7)投資有価証券 その他有価証券

これらの時価について、株式は取引所の価格によっております。

(8)関係会社長期貸付金

これらの時価は、一定の期間ごとに分類し、元利金の合計額を同様の新規貸付を行った場合に想定される利率で割り引いて現在価値を算定しております。

負債

(1)買掛金、(2)未払金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(注2)時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

区分	貸借対照表計上額(百万円)			
子会社株式および関連会社株式	517			
非上場株式	71			

これらについては、市場価格がなく、かつ、将来キャッシュ・フローを見積もるには過大 なコストを要すると見込まれます。したがって、時価を把握することが極めて困難と認めら れるものであるため、「資産(7)投資有価証券 その他有価証券」には含めておりません。

(関連当事者との取引に関する注記)

1. 親会社

(単位:百万円)

属性	会社等の名称	議決権等の所有 (被所有)割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (注2)	科目	期末 残高
親会社	東亞合成㈱	被所有 直接 100.0%	資金の預託	資金の預託(純額)(注 1) 受取利息	265 26	関係会社 預け金	13,529

取引条件及び取引条件の決定方針等

- (注1) 関係会社預け金は、同社ならびにその関係会社各社の資金を一元化して効率活用することを目的とする「キャッシュ・マネジ メントサービス」により、同社へ預託した随時引出可能な資金であります。受取利息の金利については、市場の実質金利を考 慮の上決定しております。
- (注2) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

2. 子会社

(単位:百万円)

属性	会社等の名称	資本金 又は 出資金	議決権等の所有 (被所有)割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (注2)	科目	期末残高
子会社	Aronkasei	58(百万 THB)	所有	製品の購入	製品の購入(注1)	133	短期貸付金	598
	(Thailand)		直接 99.64%		運転資金の貸付	165	貸倒引当金	△598
	Co., Ltd.				貸倒引当金繰入額	△234		

取引条件及び取引条件の決定方針等

- (注1) 価格その他の取引条件は、市場実勢を勘案して、価格交渉の上で決定しております。 (注2) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

3. 兄弟会社等

(単位:百万円)

							(TE - 1771	3/
属性	会社等の名称	資本金 又は 出資金	議決権等の所有 (被所有)割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引 金額 (注2)	科目	期末残高
親会社の 子会社	㈱TG コーポ レーション	無	無	製品の販売	建材製品の販売 (注1)	1,493	売掛金	604
親会社の 子会社	Toagosei (Thailand) Co., Ltd.	500(百万 THB)	所有 直接 29.25%	製品の製造	運転資金の貸付 資金の返済 資金の貸付 早期弁済手数料	1,134	短期貸付金 長期貸付金 長期貸付金 (1年内)	161 912 49

取引条件及び取引条件の決定方針等

- 価格その他の取引条件は、市場実勢を勘案して、価格交渉の上で決定しております。 (注1)
- 取引金額には消費税等を含めておりません。期末残高には消費税等を含めております。

(1株当たり情報に関する注記)

1.1株当たり純資産額 935円44銭

2.1株当たり当期純利益 24円07銭